

科目名	教職実践演習（初等）		科目コード	2050	
開講学科	初等芸術教育学科	単位数	2	形態	演習
教員名	長谷充康				
授業の目的及びテーマ					
<p>在学中の教職課程の履修状況を踏まえ自身の教員としての資質を確認し、自らが教壇に立つ上で不足している知識や技能を補うことにより、教員としての資質の向上を図る。</p>					
授業概要					
<p>自らの教師としての資質を確認・省察するうえで重要となる今日の学校や教員に期待されているものを討論や実習、模擬授業を通して相互に確認し合う演習活動を中心とする。また、子ども観や教育観、そして授業の構想力は教員になったときに最も重要となってくるものである。講義の中で再度各教科について確認するとともに、実施に自ら文章化することによって、各人の力量を高めたい。</p>					
授業計画					
<p>第 1 回：イントロダクション（履修履歴の個別・相互確認を含む）</p> <p>第 2 回：教職の意義や教員の役割、職務内容等についての講義</p> <p>第 3 回：子ども理解についての理解と認識を深める。教員による講義と学生間のグループ討論による。</p> <p>第 4 回：学級経営についての理解と認識を深める。教員による講義と学生間のグループ討論による。</p> <p>第 5 回：教員の社会性や対人関係能力についての講義とグループ討論</p> <p>第 6 回：物語を演じる実技指導を通して、対人関係力を磨く。</p> <p>第 7 回：学習指導と生活指導の在り方についてのグループ討論を行う。</p> <p>第 8 回：創造的な授業づくりの在り方について提案授業の映像及び資料を使って講義する。</p> <p>第 9 回：生活科の提案授業を参観し、授業の見方・考え方について意見交流を行う。</p> <p>第 10 回：教科の指導力向上を目指して、教材分析と授業案づくりを行う。</p> <p>第 11 回：代表者による模擬授業とその検討（幼、小グループに分かれる）</p> <p>第 12 回：学習指導要領総則等を教材として、21 世紀に求められる学力観についての研究協議を行う。</p> <p>第 13 回：教員に求められるコンプライアンスについて講義する。</p> <p>第 14 回：自らの教員としての資質の在り様の確認と今後の課題についての文章化を行う。発表を通して相互の意見交流を行い、互いの資質の向上と今後の目標を確認する。</p> <p>第 15 回：講座のまとめと自らの学びを文章化する。</p>					
テキスト	「若き先生たちに」（長谷充康著）		参考文献	①小学校学習指導要領 ②シリーズ授業『生活』（岩波書店）	
評価方法：					
<p>面接授業は受講態度、授業中提出物などにより総合的に評価する。</p>					